

洛西ニュータウンまちづくりビジョン 概要版

～ もっと もっと 魅力あるまちを目指して ～

「洛西ニュータウン」は、住宅難の解消、乱開発の防止、秩序ある住宅地の供給を目的に、京都で初めて大規模計画住宅団地として開発された260ヘクタールの広大なまちであり、豊かな緑の中で勾配屋根の低層住宅や中高層住宅等がゆとりを持って建ち並び、その中に約3万人の住民が生活されています。

しかし、まち開き（入居開始）から30年を迎え、自然環境に調和した緑豊かなまちとして誕生した洛西ニュータウンも、時の流れとともに、地域の住民の少子・高齢化、コミュニティの希薄化、サブセンターの機能の低下、土地利用の変化など様々な課題を抱えてきています。

このような状況を踏まえ、京都市によって、平成17年8月に、地域住民や学識経験者、事業者、行政等による「洛西ニュータウンまちづくり検討会」が設置され、これからのまちづくりについて検討を行うこととしました。

検討会では、5回に及ぶタウンミーティング（住民や事業者等の皆さんが参加し、情報を共有し、話し合い、ともに考えていただくための取組）、住民アンケート調査、団体等へのヒアリングなどを行いながら、洛西ニュータウンが抱える様々な課題を確認しつつ、議論を重ねてきました。

「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」（以下「ビジョン」という。）は、検討会での論議だけでなく、タウンミーティング、ヒアリング、アンケート調査、パブリックコメント等で出された様々な意見なども踏まえ、今後向かうべきまちの目標像や、その実現に向けて地域住民、地域に関わっている各種事業者及び行政等が協働して取り組む必要のある課題、方策などをとりまとめ、策定したものです。

なお、このビジョンは、今後の取組の起点となるものでありますが、その一方で、今後の更なる議論や洛西ニュータウンの魅力発信の素材にも活用されるものと考えています。

平成18年11月
洛西ニュータウンまちづくり検討会



洛西ニュータウンまちづくり検討会



洛西ニュータウン タウンミーティング

発行

平成18年11月 洛西ニュータウンまちづくり検討会事務局

（京都市西京区洛西支所、京都市都市計画局都市計画課）

電話：332-9318（洛西支所まちづくり推進課）

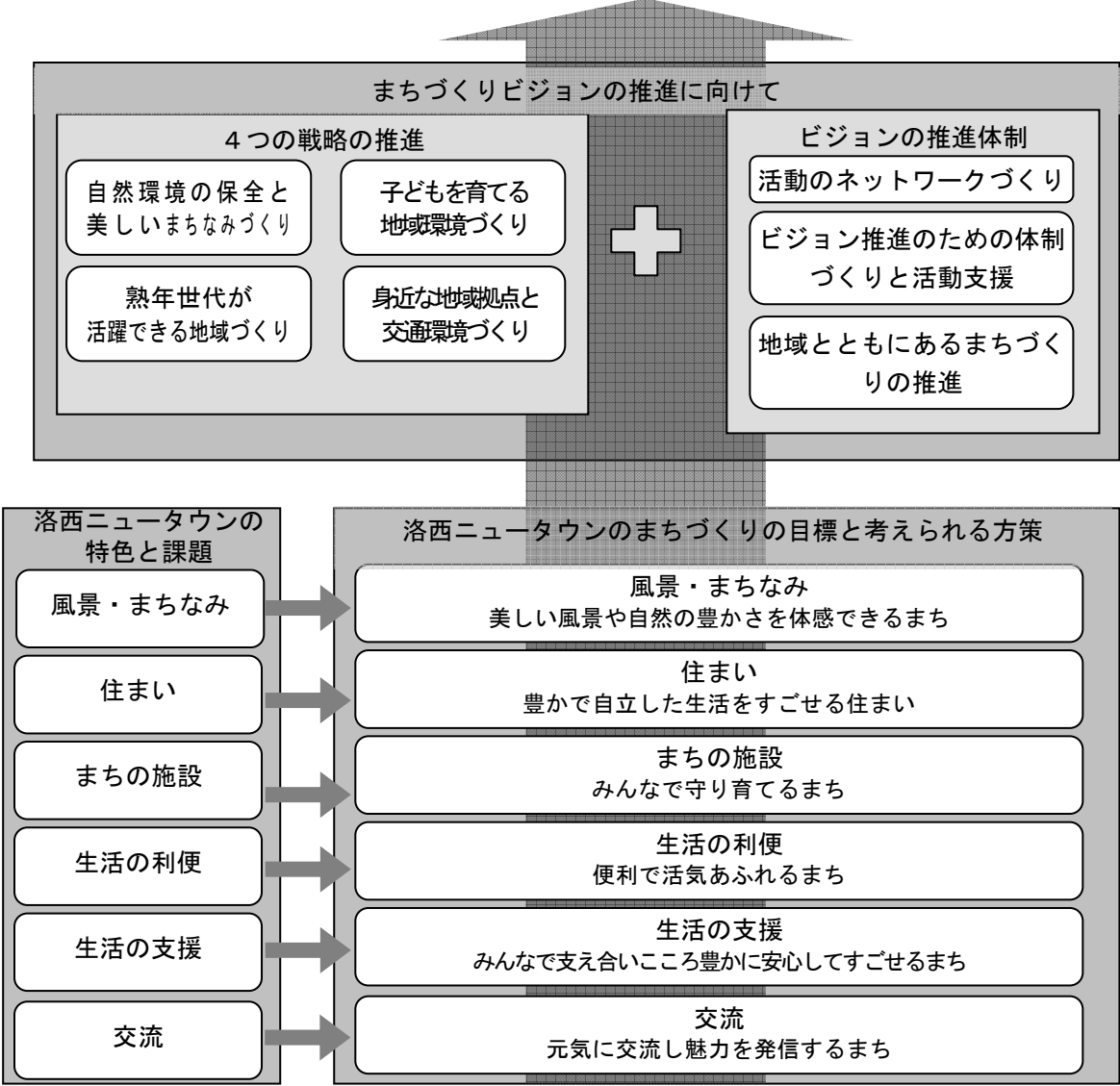
京都市印刷物 第184365号



洛西ニュータウンまちづくりビジョンの構成

洛西ニュータウンの目指すまちのすがた

緑とゆとりを守り、各世代が支えあい心豊かに共生できるまち



洛西ニュータウンの目指すまちのすがた

緑とゆとりを守り、各世代が支えあい心豊かに共生できるまち

美しい自然や風景、ゆとりのある緑豊かなまちを守り、育て、次世代に引き継いでいくとともに、各世代がお互いに支えあい交流しながら心豊かに共生するまちを目指します。



洛西ニュータウンの特色と課題

1 風景・まちなみ

- (1) 西山等の身近な自然や風景，豊かな水辺，緑豊かなまちに対する評価が高い。
- (2) 世代を超えてまちのゆとり，まちなみに対する評価が高い。
- (3) 建物の再生が始まり，まちなみが変化しつつある。



2 住まい

- (1) 戸建住宅や集合住宅の老朽化が進んでいる。
- (2) 住まいの安心安全に対する関心が高まっている。

3 まちの施設

- (1) 公園や道路について現在の利用に応じて再検討すべき点が見られる。
- (2) まちなみで見られるバリアの除去が必要となっている。
- (3) まちの美化や街路樹，公園の緑などの適切な緑の管理が必要である。



4 生活の利便

- (1) 日常の買い物の利便性が低下している。
- (2) サブセンター等の地区支援機能の再編期を迎えている。
- (3) 交通の利便性の向上を求める声がある。
- (4) 交通環境についてさらに検討すべきという意見が多い。

5 生活の支援

- (1) 子どもが減少してまちの活気が低下している。
- (2) 子育て環境について子育て世代のニーズを把握する必要がある。
- (3) 急速な高齢化に伴って様々な問題が顕在化している。
- (4) まちの安心安全に対する関心が高まっている。
- (5) 近所付き合いが希薄になりつつあると感じる人が多い。
- (6) 自治会活動の活性化が求められている。

6 交流

- (1) 洛西ニュータウン内の市民活動は活発に行われている。
- (2) 生涯学習・文化活動の活性化，情報発信が求められている。
- (3) 住んでいる人が認めるまちの魅力を継承・発展させる必要がある。
- (4) 他の地域の人にまちの魅力を発信する必要がある。
- (5) 周辺地域との連携やネットワークづくりが求められる。

洛西ニュータウンのまちづくりの目標

目指すまちのすがたを実現するためには，今後，様々な取組が必要となってきます。まちの魅力にさらに磨きをかけ，まちの課題に対応していくに当たっての拠りどころとなるまちづくりの目標を掲げます。

1 風景・まちなみ ~美しい風景や自然の豊かさを体感できるまち~

- (1) 優れた自然や風景が身近なまち
洛西ニュータウン及びその周辺の自然や風景は，アンケート調



査やタウンミーティングでも非常に評価が高く、この美しい自然や風景を積極的に体感し、守り、将来に引き継ぐまちづくりを進める。

(2) 四季の表情を感じることでできる緑豊かなまち

緑豊かなまちの良さをみんなで共有し、これらを守り、よりよいものに育て、花と緑があふれるまちづくりに積極的に取り組んでいく。

(3) 風景と調和した、美しくゆとりあるまちなみを守っていくまち

魅力あるまちなみを守り、将来に引き継ぐまちづくりを進める。

2 住まい ~豊かで自立した生活をすごせる住まい~

(1) 多様な世代・世帯が暮らせる住まい

まちにある多様な形態の住まいを活かし、若い世代から高齢世代までの様々な世代が暮らせる住まいの提供を推進する。

また、家族構成の変化や多様なライフスタイルの受け皿となる住宅など、住宅のニーズの多様化に対応する住まいの確保と住宅情報の充実を進める。

(2) 高齢者や障害のある方が安心して暮らせる住まい

高齢者や障害のある方が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、住まいは重要な要素となるものであり、いつまでもこのまちに住み続けられるよう、住まいとまちのバリアフリー化に取り組む。



3 まちの施設 ~みんなで守り育てるまち~

(1) 多様な世代が交流する公園

多世代が暮らし交流するまちにふさわしく、子どもから高齢者までが使いやすく、人々が交流できる公園のあり方をみんなで考える。

(2) みんなで守り育てる公園やみち

わがまちの財産である公園や道路について、子どもから高齢者、障害のある方が安心して利用できるように、その整備と管理に努める一方、住民のできる範囲で、行政との協働により、守り育てる取組を進める。

(3) 環境に配慮したまちづくり

豊かでかけがえのない環境を守り、将来に引き継いでいくため、歩いて暮らせるまちづくりの実現や、ごみ減量、リサイクルの推進、啓発活動など、環境に配慮したまちづくりへの意識を高めるとともに、自発的な担い手づくりに取り組む。



4 生活の利便 ~便利で活気あふれるまち~

(1) まちの核にふさわしいタウンセンター

洛西ニュータウンの中心部に位置するタウンセンターは、時代に対応した商業・業務機能の充実を進め、周辺地域も含めたまちの核として、にぎわいあふれる拠点としての機能の充実を図る。

(2) みんなが集うサブセンター

利用者の減少や機能の低下が指摘されているサブセンターについては、徒歩圏を中心とした居住者へのサービスを提供する商業機能を向上させるとともに、住民のコミュニティ活動の拠点としての機能強化を進め、身近で気軽に集えるサブセンターの再生に取り組む。

(3) 住民ニーズに対応した利用しやすい施設

住民が気軽に利用し、住民のニーズに即した活動が展開できる施設とするため、既存施設の利用や管理方法について検討を進める。



(4) バランスのとれたみんなが利用しやすい公共交通

歩いて暮らせるまちづくりの実現に向け、住民の多様な活動を支え、住民の利便の向上に資する交通環境の整備を推進する。そのために、洛西ニュータウン内のバス交通の再編、広域的な交通システムの検討など、みんなが利用しやすい公共交通の充実に努める。

5 生活の支援 ~ みんなで支え合いこころ豊かに安心してすごせるまち ~

(1) 子どもが安心安全に元気に育つまち

地域の子どもの見守り活動を強化し、「子どもが安心して遊び、元気に育つまち」を目指す取組を展開する。

(2) 子育てを地域で支えるまち

少子化や核家族化から育児不安等を抱える世帯が増加している。地域で安心して子どもを産み育てられるよう子育て支援サービスの充実や、地域で子育てを応援する体制づくりに取り組んでいく。



(3) 高齢者や障害のある方の生活を支えるまち

生活上の支援が必要な人や世帯の多様なニーズに対応するため、公的な福祉サービスの充実を図るとともに、社会福祉協議会や民生児童委員会、老人クラブなどと連携しながら、住民が主体となって地域で支えあう福祉活動を推進していく。

また、多くの高齢者はまだまだ体力や気力もあり、社会とのかかわりを望む人も多く存在することから、高齢者が地域社会に積極的に参加できる仕組みづくりにも取り組んでいく。

(4) みんなで支える安心安全のまち

安心して暮らせる洛西のまちを目指して、住民が共に助け合い、信頼できる関係づくりと、住民と行政の連携による防災・防犯活動の取組を進める。

(5) 自治会活動やコミュニティ活動が活発なまち

近所間の交流の機会を増やし、地域活動に参加する気運を高める取組の推進により、住民のまちへの愛着やコミュニティへの理解を深め、まち全体のコミュニティの活性化を進める。そのためにも、最も身近で基礎的な地域コミュニティであり、地域の親睦や地域課題の解決に重要な役割を果たしている自治会への関心を高め、積極的に関わりをもつ人が増えるように、自治会活動の活性化に向けた取組を進めていく。



6 交流 ~ 元気に交流し魅力を発信するまち ~

(1) 多様な市民活動が広がり、交流するまち

活動団体同士の相互交流を図ることにより、活動をアピールし、人の輪を拡げ、取組の多様化や充実が進むよう取り組んでいく。

また、地域のメディアであり、洛西ニュータウンの情報発信の拠点であるRCV(洛西ケーブルビジョン)の更なる活用を検討していく。

さらに、大学やその周辺に住む学生等が、地域の一員として、洛西ニュータウンを対象とした研究を行い、研究成果を地域に還元することで、地域に根ざした大学をアピールするとともに、地域との連携を地域の魅力向上と活性化につなげる。

(2) 多様な世代を惹きつけるまちづくりが広がるまち

「多様な世代の交流するまち」の実現に向け、現在の居住者のまちへの愛着を高めるとともに、他の地域から多様な世代、特に若い世代がまちを訪れ、住みたいと思えるよう、まちの魅力を高め、まちの情報を発信する取組を推進していく。

(3) 地域や世代を超えた交流が広がるまち

多様な世代の交流を進めるとともに、地域の将来を担う子どもが、地域で様々な交流を通じ、健やかに育つ環境づくりを進める。

また、洛西ニュータウンを取り巻く周辺地域との交流やネットワークづくりを進める。

まちづくりビジョンの推進に向けて

洛西ニュータウンで急速に進展する少子化・高齢化やこれに伴うコミュニティの希薄化は、様々なところに影響を及ぼす喫緊の課題ですが、「洛西ニュータウンの目指すまちのすがた」で掲げた『緑とゆとりを守り、各世代が支えあい心豊かに共生できるまち』を実現することは、住民にとって更に住み心地のよいまちになる一方で、若い世代の定着や転入者の増加につながってきます。

ここでは、「緑とゆとりの保全」や「世代間の支え合いと共生」を先導し、少子化・高齢化やコミュニティの希薄化の対応にも結びつく4つの戦略を掲げます。

また、地域で活動する団体や住民の相互協力のネットワークを構築するとともに、このネットワークを活かし、ビジョンに掲げるまちづくりのあり方やそのための方策を考え、それを推進する体制を掲げます。



【4つの戦略】

【戦略1】美しくゆとりあるまちなみを育て、次世代へ継承するための取組
～自然環境の保全と美しいまちなみづくり～

これからも洛西ニュータウンが周辺の景観と調和したゆとりあるまちを守り、次世代に引き継いでいけるよう、必要なルールの見直しを進めるとともに、住民の様々なまちづくり活動を推進する。

【戦略2】洛西のまち全体で子育てを支える取組

～子どもを育てる地域環境づくり～

子育て世代のニーズを把握し、住民、事業者及び行政がそれぞれの役割を果たし、相互に連携した様々な取組を展開する中で、子どもを育てる場にふさわしい地域環境を整える。

【戦略3】熟年世代が洛西のまちで力を発揮する活動を広げる取組

～熟年世代が活躍できる地域づくり～

熟年世代の地域社会への参加や自主的、主体的な活動を促進し、知識や経験を活かして活躍できる地域づくりを進める。

【戦略4】洛西のまちで誰もが快適に暮らせる環境づくりの取組

～身近な地域拠点と交通環境づくり～

住民の生活を支えるサブセンターについて、商業の活性化や住民活動の拠点としての利用を促進する。また、バス交通の改善などにより、身近で便利な交通環境をつくっていく。



【ビジョンの推進体制】

まちづくりビジョンの着実な推進に向けて、

- (1) 地域で活動する住民やグループの交流の場を設けることなどにより、相互協力のネットワークづくりに取り組む。
- (2) 地域や事業者、行政などが連携しながら進めるべき取組について、進め方をリードしていくまちづくり推進組織として「洛西ニュータウンまちづくり協議会（仮称）」を立ち上げ、4つの戦略の観点を踏まえた優先順位、取組の担い手や手法、スケジュールなどを協議し、実行する。
- (3) ビジョンに関する取組などについて、「まちづくりニュース（仮称）」の発行や「報告会」によって広く地域住民に知らせ、地域とともにあるまちづくりを進める。